

## 4月理事会会議録

1. 全国連盟 主催者賠償保険の再開の件
  - ・大阪が先行して契約した賠償保険は会の行事も補償される。全国連盟の契約分は、連盟主催行事しか適用されない。よって、大阪労山としては、今までの契約をもう1年継続し、全国連盟の今後の対応の様子を見る。
2. 組織部
  - ・全国連盟 HP に各会の情報が掲載されているが、古いモノもある。こちらでも更新申請して欲しい。
3. 女性委員会
  - ・女性のための登山教室は無事修了。5月15日におまけ山行を企画している。
4. 機関誌部
  - ・配布部数の縮小を考えているが希望部数連絡のある会には、その部数を配布する。
5. 障がい者登山PT
  - ・事故事例集の勉強会を「手話」にて行う予定。4月26日
6. 平和と登山
  - ・4月13日実施の学習会資料（ロシアのウクライナ侵攻は許されなし・OWCC 中川和道）を配布します。こもれば佐々木さんに申し込んで下さい。
7. 自然保護
  - ・クリーンハイクの自治体に対する協力要請文書の発送は来週行います
  - ・5月連休は、縄張り争いのためライチョウが登山道に現れますので是非目撃情報の提供をお願いします。
  - ・リニア中央新幹線；引き続き署名を集めます。 大見則親

### 編集後記

時が経つのも早いものです。気が付くと、もう立夏、今年の「立夏」は5月5日で、この日で暦の上で夏になります。4月から始めた俳句づくりも、もう季語は夏になり一句一句と心も弾んできます。5月17日に訪れた京都府綾部市古屋の山里にクリンソウがいっぱい咲いていました。古屋は95歳の二人のお母さんが、まだ現役で栃モチづくりで頑張っておられる集落です。この日も二人のお母さんが「今年もクリンソウが優しく待っていてくれましたよ」とおっしゃいました。その後、帰宅して珍しく瞬時に浮かんだのが次の一句でした。「クリンソウ群れて閑（しずか）に夏来る」。俳句の道はまだ半ば、もっと勉強をせねば。（大西清見）

**\* 今月も各会より会報を送っていただきました。**

安治川山の会ニュース（安治川山の会）、きたろうニュース（きたろうHC）、にしよど（西淀労山）、ぽんぽん山（高槻）、こもれば通信（山の会こもれば）、福岡県連通信、労山おかやま、やまと友の会、京都労山、噴煙（鹿児島労山）、兵庫労山会報、県連ニュース（和歌山労山）

発行日 2022年（令和4年）5月23日 No.435（6月号）

編集・発行 入澤、笠井、園、高橋、中井、中尾、大西清